

将来を見据えた基町地区のまちづくりビジョン (概要)

基町地区の将来を見据え、地区住民と広島市とが共に目指す将来像を、「多様な世代が共存する、住みやすく、にぎわいのあるまち」と位置付けます。

このビジョンに基づき、地区のまちづくりを進めることにし、平成31年度に改定を予定している基町住宅地区活性化計画に、ビジョンの実現に向けた必要な取組をしっかりと位置付けていきます。

将来像 「多様な世代が共存する、住みやすく、にぎわいのあるまち」

多様な世代が共存する基町

1 多様な世代が暮らすまち

若年世帯や子育て世帯の入居を促進し、多様な世代で構成されたコミュニティを形成します。

2 教育環境が整い、子育てしやすいまち

今後、子どもの増加が見込まれる基町小学校において、児童一人一人の習熟度に合わせた丁寧な教育が行える体制を整え、地区住民の皆様の協力のもと、子どもたちが個に応じた確かな学力を身につけることができる教育環境を整備します。また、幼児教育・保育環境についても充実し、子どもたちが元気よく育ち、子育てしやすいまちにします。

3 高齢者が安心して暮らせるまち

宿泊機能を持つ介護事業所が整備され、親子近居できる環境が整った、高齢者が安心して暮らせるまちにします。

住みやすい基町

4 潤いのある魅力的なまち

旧太田川に面する県営基町住宅跡地を有効に活用し、中央公園に連なる水と緑を生かした広大な空間を確保し、潤いのある魅力的なまちにします。

5 多様な文化が交流できるまち

外国人と日本人とが、互いの生活習慣や文化の違いを認め合った上で理解し合い、尊重しながら交流するまちにします。

にぎわいの基町

6 地域の交流が活発なまち

「基町プロジェクト」を充実させるとともに、基町ショッピングセンターについて、店舗として、また、出会いや交流の場として魅力的でにぎわいのある施設にします。

若年世帯・子育て世帯の入居促進
(若年世帯・子育て世帯の世帯数の割合11.3%⇒25%)

宿泊機能のある介護事業所の導入

水と緑の空間の確保

基町ショッピングセンターの活性化

第17アパートを含めての建て替え

「基町プロジェクト」の充実

